

2010

# Rally JAPAN

10 > 12 SEPTEMBER



札幌大通公園

<b>2010</b>			
-------------	--	---	---



## Rally Guide 1

### 大会競技事務局

〒003-0022

北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9

Tel: 011-864-2003 Fax: 011-864-1192

この書類は、ラリーに参加するための案内書として作成されており、規則的な効力はありません。特別規則書、公式通知にて規定された場合はそれらに従ってください。

規則については、2010FIA 国際競技規則及びその付則（FIA International Sporting Code and its appendices）、2010 FIA 世界ラリー選手権競技規定（the 2010 FIA WRC Sporting Regulations）、FIA 規則に準じた国内競技規則及びラリージャパン特別規則書に従い開催される。

2010 FIA 世界ラリー選手権競技規定（the 2010 FIA WRC Sporting Regulations）は、FIA ウェブサイトから入手することが出来ます。

[www.fia.com/sport/Regulations/index.html](http://www.fia.com/sport/Regulations/index.html).

## 警 告

選手、チーム、メディア、及び関係者全ては FIA 一般規定 2.2.4 に従って日本の交通法規を遵守しなければなりません。法令遵守の原則に則り、大会主催者は以下について警告します。

- ・「FIA 一般規定第 11 章」及び「JAF ラリー競技会組織に関する規定第 10 条」に則り、交通違反者に対しては厳格に罰則を適用します。
- ・違反者の来年以降のエントリーを受け付けない場合があります。
- ・大会期間中、交通違反が発生した場合、大会の継続や今後の開催に重大な影響を与える可能性があります。

以上

海外からお越しになる方へ

日本には国際基準とは異なる交通規則が存在します。しかしそれらは厳密に遵守されなくてはなりません。特に下記には注意してください。

全体的に道路標識は国際基準と合致していますが、「止まれ」のサインだけは異なります。形状は逆三角形です（海外の「Give Way」標識に似ています）。

すべての車両は踏み切りで必ず停止しなくてはならず、通過する前に電車が来ていないことを確認しなければなりません。

特に標識で規制されていない場合は、町の中心部は時速 40km 以内で、その他の地域は時速 60km 以内で走行しなくてはなりません。高速道路の最高速度は、状況にもよりますが、時速 70km~100km です。

また、海外からお越しになる方は、一般道を運転するのに日本で有効な免許証、および国際免許証について理解していません。国際免許証は「1949 年ジュネーブ交通条約」下で発行されたものでなければならず、国際免許証の表紙に「1949 年ジュネーブ交通条約」と明記されています。ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー、台湾の免許証所持者は JAF で免許証の翻訳が必要になります。その翻訳したものと免許証を同時に所持することでジュネーブ条約下で発行された国際免許証と同じ効力を持ちます。以上の免許証以外を所持している方は「外免切替」が必要になります。

外面切替の詳細に関しては、以下のウェブサイトをご覧ください：

<http://www.jaf.or.jp/e/switch.htm>

詳細については第 8 項をご覧ください。

## 目次

<b>1.はじめに／歓迎の挨拶</b>		<b>9 ヘリコプター</b>	
1.1 大会組織委員長及び協議長の挨拶	6	9.1 申請手続き／インフォメーション	21
1.2 大会概要	7	9.2 国内ヘリコプター会社の連絡先	21
1.3 北海道／札幌について	8	<b>10.ホスピタリティー</b>	
<b>2.オーガナイザーの連絡先</b>		10.1 ホスピタリティー担当者	21
2.1 大会事務局の連絡先	9	<b>11.ホテル／宿泊予約</b>	
2.2 主要競技役員と連絡先	9	11.1 ホテル／宿泊施設のリストと予約	22
2.3 ラリーHQ 連絡先	10	11.2 指定旅行会社及び担当者	23
2.4 メディアの連絡先	10	11.3 宿泊予約申込書及び予約の手順	23
<b>3.プログラム</b>		<b>12.レッキ</b>	
3.1 イベント前スケジュール	11	12.1 レッキ受付	23
3.2 イベント中のスケジュール	12	12.2 レッキスケジュール	24
<b>4 エントリー</b>		<b>13.公式車検及びシーリング&amp;マーキング</b>	
4.1 本大会での FIA 格式選手権	14	24	
4.2 エントリー受理に関する基準	14	<b>14.シェイクダウン</b>	
4.3 エントリーフィー及び支払い方法	14	24	
4.4 エントリーパッケージ	15	<b>15.スタート手順</b>	
4.5 パス及び書類の追加注文	15	24	
<b>5 サービスパーク</b>		<b>16.フィニッシュ進行</b>	
5.1 サービスパークについて	16	24	
5.2 サービスパーク内の設備	16	<b>17.PR イベント案内</b>	
5.3 サービスパーク規則についてのガイドライン	17	24	
5.4 ライト装着ゾーン	17	<b>18.メディア</b>	
<b>6 無線</b>		18.1 メディアの連絡先(大会前)	25
17		18.1.1 メディアセンター	25
<b>7 燃料／タイヤ</b>		18.1.2 マニファクチャールーム	25
7.1 燃料	18	18.2 メディア申請の方法と添付書類、締切	
7.1.1 燃料の一般条件	18	18.2.1 国内メディア	26
7.1.2 FIA 燃料の発注方法	18	18.2.2 海外メディア	26
7.2 タイヤ	18	18.2.3 テレビ及び海外ラジオ、ウェブサイト	26
7.2.1 単一タイヤ供給会社	19	18.2.4 フォトグラファー	26
<b>8 車両と部品の持ち込みと運転に必要な手続き</b>		18.2.5 原則	27
8.1 日本の法律／通関手続き	19	18.2.6 添付書類	27
8.2 日本国内を運転する際の条件	20		

19.クレデンシャル及び車両通行証	28
-------------------	----

20.緊急医療サービス	28
-------------	----

## 21.総合案内

21.1 概要	28
---------	----

21.2 車両レンタル — 乗用車、トラック	29
------------------------	----

21.3 航空会社	29
-----------	----

### 21.4 札幌へのアクセス

21.4.1 新千歳空港への空路	30
------------------	----

21.4.2 苫小牧へのフェリー航路	30
--------------------	----

### 21.5 北翔クロテック月寒ドームへのアクセス

21.5.1 新千歳空港	31
--------------	----

21.5.2 札幌駅	31
------------	----

21.5.3 苫小牧港	31
-------------	----

21.5.4 高速道路	32
-------------	----

21.6 電話	32
---------	----

21.7 警備会社	33
-----------	----

21.8 タクシー	33
-----------	----

付則	34
----	----

### 付則 A アイテナリー

A.1 アイテナリー	35
------------	----

A.2 2008年のアイテナリーとの比較	38
----------------------	----

### 付則 B マップ

B.1 全体図／ルートマップ	39
----------------	----

B.2 北海道地図	40
-----------	----

B.3 札幌市内地図	41
------------	----

### 付則 C 図面及びレイアウト

C.1 サービスパークレイアウト	42
------------------	----

### 付則 D 各種フォーム

D.1 燃料注文書	43
-----------	----

D.2 車両レンタル予約申込書	45
-----------------	----

D.3 エントリーブックレット	46
-----------------	----

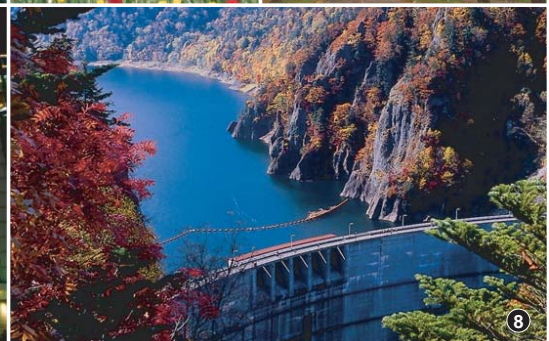
D.4 ヘリコプター登録申込書	51
-----------------	----

D.5 宿泊予約申込書	52
-------------	----

D.6 無線局諸元調書	54
-------------	----

付則 E ETCについて	55
--------------	----

札幌市の風景



① 札幌時計台

② ススキノ

③ きゅほろテレビ塔

④ 北海道神宮

⑤ 旭山記念公園から見た札幌の夜景

⑥ 北海道旧庁舎

⑦ 北海道大学銀杏並木

⑧ 豊平峡

⑨ 羊が丘公園

## 1. はじめに / 歓迎のご挨拶

### 1.1 大会組織委員長より歓迎のご挨拶

#### ラリージャパンへようこそ

2年ぶり6回目のラリージャパンを北海道の道央圏で再び開催できる事をうれしく思います。前回は札幌ドームでのスーパーSSを実現するなど世界中から注目を集める大会として成功いたしました。今年の大会は更なるグレードアップをめざしつつ、環境の時代に相応しい新しいWRCの姿を日本から提案いたします。

競技コースは札幌市をスタートし、デイ1とデイ2が苫小牧市、千歳市、恵庭市を回るルート、デイ3が砂川市、美唄市、奈井江町を回るルートとなり、前回同様に高速道路網を活用する非常にコンパクトなアイテナリーになりました。そして北海道が世界に誇る国際施設である札幌ドームに再びスーパーSSコースを設営いたします。世界最高のドライビングをお客様に楽しんで頂ける様、コースデザインはよりテクニカルにアレンジをしています。また、前回は札幌ドームに設置したサービスパークを、近隣の北翔クロテック月寒ドームに移しました。そのため札幌ドームにも観戦者駐車場を用意できるだけでなく、サービスパークには余裕ある出展エリアを設営いたします。



札幌ドーム会場では、特設コースや出展エリアを活用して環境対応自動車のイベントを実施いたします。日本の自動車メーカーが牽引する環境自動車の新しい未来を、日本のWRCであるラリージャパンが率先してモータースポーツの世界に融合させてゆきたいと思っております。

いつも変わらず大会を支え続けて下さる北海道の皆様、全国から集まってくれるボランティアオフィシャル、そして関係する官民各機関の皆様、日本自動車連盟、FIAに感謝を申し上げます。また、札幌ドーム開催に向けては関係する多くの皆様にご尽力を頂いております。心より御礼を申し上げます。

今年は世界的に景気が低迷した時代での開催となりますが、変革の時代だからこそ、新しいWRCの魅力を創造できる絶好の機会でもあります。ラリージャパンはこれまで応援して下さったファンの皆様やモータースポーツ関係者の期待に応えてゆきます。9月にラリージャパンのステージで、皆様とお会いする時を楽しみにしています。

# 田畑邦博

大会組織委員会 委員長  
田畑 邦博

1.2 大会概要

<b>2008 Winner</b>			
Driver	Mikko HIRVONEN		
Co-driver	Jarmo LEHTINEN		
Entrant	BP Ford Abu Dhabi WRT		
Vehicle	Ford Focus WRC 07		
<b>2007 Winner</b>			
Driver	Mikko HIRVONEN		
Co-driver	Jarmo LEHTINEN		
Entrant	BP Ford WRT		
Vehicle	Ford Focus WRC 07		
<b>2006 Winner</b>			
Driver	Sebastien LOEB		
Co-driver	Daniel ELENA		
Entrant	Kronos Total Citroen WRT		
Vehicle	Citroen Xsara		
<b>2005 Winner</b>			
Driver	Marcus GRONHOLM		
Co-driver	Timo RAUTIAINEN		
Entrant	Marlboro Peugeot Total		
Vehicle	Peugeot 307 WRC		
<b>2004 Winner</b>			
Driver	Peter SOLBERG		
Co-driver	Phil MILLS		
Entrant	555 Subaru World Rally Team		
Vehicle	Subaru Impreza WRC 2004		

2004 年に日本で初開催された FIA 世界ラリー選手権大会「ラリージャパン」は、4 回の北海道・十勝圏開催を経て 2008 年、開催地を札幌市が中心となる道央圏に移し、大会 4 日間の延べ観戦者数が過去最高の 54 万 7000 人となる国際モータースポーツイベントになりました。

2009 年のインターバルを経て 6 回目の開催となる 2010 年大会は、再び道央圏でのコース設定となります。SS コース予定地は道央圏 6 市 1 町で石狩エリア [札幌市、千歳市、恵庭市]、胆振エリア [苫小牧

市]、空知エリア [砂川市、美唄市、奈井江町] となり、砂川市と奈井江町は WRC として初使用です。前大会ではラリージャパン全体の中核機能を全て札幌ドームに設置いたしました。今回は初めて北翔クロテック月寒ドームにラリーヘッドクォーターとサービスパークを設置し、札幌ドームにはスーパーSS をドーム内アリーナに設置します。北翔クロテック月寒ドームは札幌ドームから 2.5km ほどの近さにある敷地面積 12 万平方メートルの大型施設で、ドーム内には HQ・メディアセンター・車検場を、敷地内にサービスパーク・出展エリアを設置します。札幌ドームは固定客席数 4 万 2831 席を誇る全天候型の屋内ドームで、サッカーと野球両方の開催を可能にする世界初のホヴァリングサッカーステージを有する施設として 2001 年にオープンし、2002 年 FIFA ワールドカップ会場にもなりました。札幌ドームのスーパーSS コースにはトンネル／ジャンプ台も構築し、屋根に覆われたドームでの 2 台同時走行が出来る SSS は WRC において世界唯一となります。SSS 走行は新たに木曜日も追加し計 4 日間に渡り行われます。前回はサービスパークとなったため不足した札幌ドームの観客駐車場も今回は十分に確保いたします。

また、2008 年の新千歳特設コースに代わり、新しく砂川特設コースを設置いたします。会場には全日本選手権のモータースポーツ大会で広く使用されているオートスポーツランドスナガワを使用しますのでコースコンディションが改善され、観戦エリアもとても見やすくなりました。さらにラリージャパンの環境への取り組みの一環として、札幌ドーム会場で環境対応自動車のイベントや展示を幅広い内容で実施いたします。

### 1.3 北海道／札幌について

北海道は日本列島の最北に位置し、人口は約 557 万人です。人口密度は約 67 人/km<sup>2</sup> で日本全国平均の 1/5 で、あまり人口が過密な地域ではありません。また地勢的には、多くの森林、山々、農業地帯が広がる豊かな地域です。

北海道は、比較的新しく約 200 年前に本州から渡ってきた人により開拓されました。開拓以前は、この地区にはシベリアからカムチャッカ半島に下って来たアイヌと呼ばれる先住民のみが居住していました。その影響で北海道の多くの地名の語源はアイヌ語であり、ラリージャパンのステージ名の多くもアイヌ語を基に決定されています。

北海道は朝鮮半島の北方、ローマや英国南部とほぼ同緯度に位置しています。しかし、南太平洋海流の影響を受けるため、冬には長期にわたり寒さが厳しくなります。日本は夏に台風の影響を多く受けますが、北海道は、もっともその影響を受けることが少ない地域です。今年、初開催エリアとなる道央圏は札幌市が中心に位置して石狩平野に広がり、東側と南西側に山地がひかえています。

ホストタウンである札幌市は日本でも有数の国際都市で、1972 年には冬季オリンピックが、2008 年 7 月には近隣地で北海道洞爺湖サミットが開催されました。人口は日本の都市中 5 番目となる 190 万人、ベットタウンの周辺都市を合わせると道央圏人口は 340 万人にもなります。

道央圏は交通アクセスに優れたエリアです。空の玄関である新千歳空港は年間利用者約 1,800 万人、30 路線以上の国内線ネットワークを持ち、国際線も 9 路線が運行されています。また SS が設けられる苫小牧市には、日本国内各地からの大型フェリーや海外からの貨物船が着く国際港があります。そして札幌ドームのある札幌市街と新千歳空港、苫小牧港は高速道路で繋がれていますので快適な移動が可能です。

北海道の地図は付則 B でご覧ください。

## 2. オーガナイザーの連絡先

### 2.1 大会事務局の連絡先

ラリージャパンの事務局は札幌と帯広にあります。大会事務局での業務内容及び各事務所の連絡先は以下の通りです。ウェブサイト [www.rallyjapan.jp](http://www.rallyjapan.jp)、および E メールアドレス [info@rallyjapan.jp](mailto:info@rallyjapan.jp) は、大会前、大会期間中にかかわらずそのままご利用いただけます。営業時間は、10時00分より19時00分です。郵送先と配達先住所は同じです。

#### 大会事務局

業務	連絡先
総合運営責務	札幌事務所（常設大会事務局） 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9 邦明ビル 2F Tel: 011-864-2003 Fax: 011-864-1192
ルート計画	
国内および海外メディア	
国内のコンペティター	
関係機関との連絡・渉外	
マニュファクチャラーチームおよび その他の海外コンペティターとの連絡・渉外	
FIA との連絡・渉外	
海外の WRC 関係者との連絡・渉外 マーケティング	帯広事務所 〒089-0538 北海道中川郡幕別町札内共栄町 19-1 Tel : 0155-28-3101

### 2.2 主要競技役員と E-Mail アドレス

	田畑 邦博		槇田 龍史
	大会組織委員会委員長		競技長
	<a href="mailto:Tabata-p@rallyjapan.jp">Tabata-p@rallyjapan.jp</a>		<a href="mailto:Makita@rallyjapan.jp">Makita@rallyjapan.jp</a>
	011-864-2003		090-3117-4789
	言語：日本語		言語：日本語
	Mr. Dmitry (Dima) KRIVTSOV		野田 健
	副競技長		医師団長
	<a href="mailto:dima@rallyjapan.jp">dima@rallyjapan.jp</a>		<a href="mailto:info@rallyjapan.jp">info@rallyjapan.jp</a>
	090-2077-6302		
	言語：ロシア語、英語、日本語		言語：日本語
	中條 美幸		加藤 和由
	メディアオフィサー		国内メディアオフィサー
	<a href="mailto:media@rallyjapan.jp">media@rallyjapan.jp</a>		<a href="mailto:media@rallyjapan.jp">media@rallyjapan.jp</a>
			090-3390-7650
	言語：日本語、英語		言語：日本語

	須藤 憲光		高嶋 伸后
	大会事務局長		セクレタリー
	sudo@rallyjapan.jp		takashima@rallyjapan.jp
	090-3772-6253		090-1340-9989
	言語：日本語		言語：日本語、英語
	米澤 章		米森 博
	救急委員長		技術委員長
	yonezawa@rallyjapan.jp		scrutineer@rallyjapan.jp
	090-3110-0896		090-2792-7724
	言語：日本語		言語：日本語
	新井野 美恵子		田畑 三枝子
	イベントアカウンタント		オフィシャルコーディネーター
	niino@planning-for.co.jp		Tabata-m@rallyjapan.jp
	011-864-2003		011-864-2003
	言語：日本語、英語		言語：日本語

### 2.3 ラリーHQ 連絡先

ラリーHQ は北翔クロテック月寒ドームに設置されます。北翔クロテック月寒ドームの HQ 内にはメディアセンターが開設され、サービスパークも併設されますので大変利便性の高い会場となります。北翔クロテック月寒ドームは、札幌ドームから 2.5km の所にあります。

大会中:北翔クロテック月寒ドーム  
〒062-0053  
北海道札幌市豊平区月寒東 3 条 11 丁目 1-1  
Tel: 011-TBA Fax: 011-TBA

### 2.4 メディアの連絡先

メディアオフィサー: 中條 美幸  
ナショナルメディアオフィサー: 加藤 和由、天野 克彦

大会前: ラリージャパン大会事務局  
〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9 邦明ビル 2F  
TEL: 011-864-2003 FAX: 011-864-1192  
E-mail:media@rallyjapan.jp Web:www.rallyjapan.jp

### 3. プログラムと日程

#### 3.1 イベント前スケジュール

##### 6月23日 水曜日

10:00~ エントリー受付開始  
10:00~ 国内メディア申請開始

大会事務局、ウェブサイト  
大会事務局

##### 7月9日 金曜日

10:00~ 特別規則書の発行

大会事務局、ウェブサイト

##### 8月9日 月曜日

18:00 エントリー受付締切

大会事務局

##### 8月11日 水曜日

18:00 国内メディア申請締切

大会事務局

##### 8月12日 木曜日

10:00~ ラリーガイド2の発行  
10:00~ ロードブック及びルートマップの発行  
18:00 シード前のエントリーリストの発行、FIAに提出

大会事務局、ウェブサイト  
大会事務局

##### 8月18日 水曜日

18:00 FIA指定燃料の発注締切  
18:00 オーガナイザー指定燃料の発注締切  
18:00 追加機材及び備品、設備の注文締切  
18:00 宿泊予約申込締切  
18:00 海外メディアのFIA申請締切

大会事務局  
大会事務局  
大会事務局  
大会事務局  
FIA

##### 8月23日 月曜日

18:00 シードエントリーリストの発行

ウェブサイト

##### 8月25日 水曜日

18:00 ヘリコプター登録締切  
18:00 コ・ドライバーの詳細の登録締切

大会事務局  
大会事務局

##### 9月1日 水曜日

18:00 各チームへのサービススペース・レイアウトの公示

大会事務局

##### 9月4日 土曜日

09:00~ チームへのサービスパークオープン

大会事務局

## 3.2 イベント中のスケジュール

## 9月5日 日曜日

13:00~	ラリーヘッドクォーター (ラリーHQ) オープン	北翔クロテック月寒ドーム
13:00~19:00	ラリーHQ 開設時間	
13:00~	公式掲示板設置	HQ 内、大会競技事務局前

## 9月6日 月曜日

09:00~19:00	ラリーHQ 開設時間	北翔クロテック月寒ドーム
09:00~19:00	レッキ受付	大会競技事務局
17:00~19:00	レッキ用トラッキング機材の配布(指定ドライバーのみ)	大会競技事務局

## 9月7日 火曜日

08:00~19:00	ラリーHQ 開設時間	北翔クロテック月寒ドーム
08:00~	レッキ開始	レッキスケジュール参照
09:00~19:00	参加確認、資料配布、サービス車両登録受付	大会競技事務局
14:00~19:00	メディア受付 (メディア受付デスク)	メディアセンター入口横
17:00~19:00	FIA セーフティトラッキング機材の配布	大会競技事務局
18:00	公式車両検査スケジュールの公示	公式掲示板

## 9月8日 水曜日

08:00~22:00	ラリーHQ 開設時間	北翔クロテック月寒ドーム
08:00~22:00	メディアセンター開設時間	メディアセンター
08:00~21:00	メディア受付時間	メディアセンター入口横
08:00~16:00	レッキ	レッキスケジュール参照
09:00~21:00	公式車両検査-マーキング及びシーリング	サービスパーク
16:00	FIA マニュファク& WRC チームマネージャーミーティング	審査委員会室

## 9月9日 木曜日

07:00~22:00	ラリーHQ 開設時間	北翔クロテック月寒ドーム
07:00~22:00	メディアセンター開設時間	メディアセンター
07:00~21:00	メディア受付時間	メディアセンター入口横
08:00~10:00	シェイクダウン (P1 及び P2 ドライバー)	Sapporo SSS
10:00~12:00	シェイクダウン (P1、P2 及び P3 ドライバー)	Sapporo SSS
13:00~	ヘリコプターパイロットブリーフィング	TBA
13:30~	FIA プレメディアコンファレンス	メディアセンター
15:00~	第1回大会審査委員会	審査委員会室
16:00	Day1 スタートリストの公示	公式掲示板
16:30~17:30	ラリーショー	TBA
18:20~	Day1 のスタート	

**2010****9月10日 金曜日**

08:00~22:00	ラリーHQ 開設時間	北翔クロテック月寒ドーム
08:00~22:00	メディアセンター開設時間	メディアセンター
09:00~	Day1 セクション2 スタート	サービスパーク
09:00~	Day1 セクション2 スタート	サービスパーク
19:50~	1号車のオーバーナイトパルクフェルメ In	サービスパーク
22:00	Day2 スタートリストの公示	公式掲示板

**9月11日 土曜日**

08:00~22:00	ラリーHQ 開設時間	北翔クロテック月寒ドーム
08:00~22:00	メディアセンター開設時間	メディアセンター
09:00~	Day2 スタート	サービスパーク
19:50~	1号車のオーバーナイトパルクフェルメ In	サービスパーク
22:00	Day3 スタートリストの公示	公式掲示板

**9月12日 日曜日**

05:30~20:00	ラリーHQ 開設時間	北翔クロテック月寒ドーム
05:30~23:00	メディアセンター開設時間	メディアセンター
06:10~	Day3 スタート	サービスパーク
15:00~	フィニッシュセレモニー及び表彰式	サービスパーク
15:30~	再車両検査	サービスパーク
16:00~	FIA ファイナルメディアコンファレンス	メディアセンター
18:00	暫定結果の公示	公式掲示板

**9月13日 月曜日**

09:00~12:00	ラリーHQ 開設時間	北翔クロテック月寒ドーム
09:00~12:00	メディアセンター開設時間	メディアセンター
09:00	リザルトブックの発行	大会競技事務局
12:00	ラリーHQ 及びメディアセンターの閉設	北翔クロテック月寒ドーム

## 4. エントリー

### 4.1 本大会での FIA 格式選手権

FIA World Rally Championship for Drivers & Co-drivers  
 FIA World Rally Championship for Manufacturers  
 FIA WRC Cup for Teams  
 FIA Production car World Rally Championship for Drivers & Co-drivers  
 FIA Super 2000 World Rally Championship for Drivers & Co-drivers

### 4.2 エントリー受理に関する利基準

ラリージャパンにエントリーするためには、エンタラント、ドライバー及びコ・ドライバーはそれぞれに必要な国際ライセンスを所持していなければなりません。海外で発給されたライセンスの保持者は、その国の ASN からの許可書を受け取るか、エントリーフォームに確認印を得なければなりません。

エントリーの上限は 90 台です。ノンプライオリティードライバーの場合、エントリー締切後に、受理の決定がなされます。エントリー台数が 90 台を超えた場合、オーガナイザーが選考の権利を有します。原則的に、エントリーフォームに記載された戦績により選考されます。

### 4.3 エントリーフィー及び支払い方法

FIA マニュファクチャラー & WRC チーム : FIA 規定通り  
 プロダクションカー世界ラリー選手権(PWRC)参加者 : FIA 規定通り  
 スーパー2000 世界ラリー選手権(SWRC)参加者 : FIA 規定通り

法人 (プライベート以外)

オーガナイザーによって提示された任意の広告を付けた場合 : 300,000 円  
 オーガナイザーによって提示された任意の広告無しの場合 : 500,000 円

プライベート

オーガナイザーによって提示された任意の広告を付けた場合 : 250,000 円  
 オーガナイザーによって提示された任意の広告無しの場合 : 350,000 円

「法人のエントリー」とは、ドライバーあるいはコ・ドライバーがエンタラントではない場合を指します。

エントリーフィーは、下記の口座に銀行振込でお支払いください。

銀行名 : 北海道銀行                      口座番号 : 0991653  
 支店名 : 流通センター前              スウィフトコード : HKDBJPJT  
 口座名 : Rally Japan

#### 4.4 エントリーパッケージ

ラリージャパンのエントリーフォームは、公式ウェブサイトよりダウンロード可能になります。また、本書付則に、D.3 エントリーブックレットが添付されています。エントリーブックレットは規則に定められたものではありませんが、オーガナイザーが事前準備を行う為に必要です（WRC マニファクチャラー、及び WRC チームは提出不要です）。競技参加者は、必要なセクションにご記入の上、大会競技事務局までご返送ください。

ラリーガイド 1、ラリーガイド 2 および特別規則書は、公式ウェブサイト（[www.rallyjapan.jp](http://www.rallyjapan.jp)）よりダウンロードしてください。FIA、FIA マニファクチャラー、WRC チーム、PWRC、SWRC 参加者に対しては、ハードコピーを送ることになっています。その他の方でハードコピーが必要な場合には、オーガナイザーにお問い合わせください。

品目	マニファクチャラー (2台)	WRC チーム		PWRC SWRC 競技参加者	その他の 競技参加者
		2台	1台		
車両通行書					
VIP(もしくはゲスト)プレート	10	8	4	1	-
サービス車両通行証	6	4	2	1	2
補助車両通行証	12	8	4	2	-
参加確認&パス					
特別規則書	10 (10)	6 (6)	3 (3)	2 (2)	
ロードブック	12 (8)	6 (6)	3 (2)	3 (2)	2
ラリーガイド 2	12 (8)	8 (6)	4 (2)	3 (2)	
ルートマップ	12 (8)	8 (6)	4 (2)	5 (2)	2
公式プログラム	15 (-)	10 (-)	5 (-)	5 (-)	1
リザルトブック	1 (1)	1 (1)	(1)	1 (1)	1 (1)
CD 版セーフティープラン	1 (-)	-	-	-	-
チームパス(要求があれば)	30	20	10	-	8
ゲストパス	2	2	1	1	-
レッキ関連書類	2	2	1	1	1
ゼッケン	2	2	1	1	1
任意の広告	-	-	-	1	1

\* ( ) は、郵送される冊数

#### 4.5 パス及び書類の追加注文

パスおよび書類は、大会競技事務局に注文することができます。注文可能な物品のリストは、付則 D.3 のエントリーブックレットに記載されています。

## 5. サービスパーク

### 5.1 サービスパークについて

サービスパークは 1 箇所のみで、HQ 及びメディアセンターとして使用される北翔クロテック月寒ドーム(N43° 01.640', E141° 24.746')に隣接して設置されます。路面は全面アスファルトです。施設内では設備が限られており、オーガナイザーが追加設備を用意します。

サービスパークの開設は9月4日(土)です。

### 5.2 サービスパーク内の設備

サービスパークには、以下を用意しています。

- 公衆トイレ
- 全体照明
- ゴミの収集
- 給水所
- 原則的に、1 参加者につき 5 x 10m のスペースが与えられます。大きなサービス車両または海上輸送コンテナなどにより、スペースに関して特別の要望がある場合は、オーガナイザーにお問合せください。

WRC マニュファクチャラー、WRC チームおよび PWRC、SWRC のチームに対しては、個別のパッケージを用意しています

以下の設備とサービスをサービスパーク内の利用に限り注文することができます。  
付則D.3のエントリーブックレットに含まれている注文書にて価格の確認及び注文ができます。

品目	詳細
ポータブルトイレ	ポンプ式トイレ、定期的に清掃が行われる
ポータキャビン	2.5 x 7m; 100V
冷蔵庫	自動販売機と同等サイズ
全天候型テント (側面の覆いなし)	5.4m x 7.2 m; 側面の覆いはメートル単位で注文可
テーブルおよび椅子	横長のテーブル：幅 45cm 椅子：積み上げ可能、折りたたみ式
発電機	20kVA 100V
発電機	2kVA 100V
フォークリフト	最大 2 トン
パーテーション	パネル 幅 1m

※テントの金額にはウェイト料金が含まれます。ウェイトは設置状況によって料金が変わりますので、詳しくはオーガナイザーにお問い合わせください。

テントをご使用になる方は持ち込み、注文品問わずウェイトでの固定が必要になります。サービスパーク内は全面アスファルトのため、杭等を打ち込んでの固定は一切出来ません。時折強い風が吹きますので、ウェイトの持込をされる方はその点を十分考慮してください。

※大型テント(10×10m 以上)やスーパーハウスの持込は一切できません。

#### ご注文の際の注意事項

ご注文の品が指定期日に確実に納入できるよう、8月18日(水曜日)までに注文してください。ご注文の

品は、指定された「開始日」当日または事前にお届けし、9月13日(月曜日)に回収いたします。破損または何かの事情で返却していただけない場合に備えて、支払方法を問わずクレジットカードの詳細を必ずご記入いただいております。また、各レンタル品に別途輸送、設置料がかかりますので、必ず輸送料および設置料の金額をご確認ください。

#### 5.4 サービスパーク規則についてのガイドライン

以下は、2010 FIA 世界ラリー選手権競技規定 (2010 FIA WRC Sporting Regulations)第 47 条への追加項目です。

- ・コンペティターは、各自指定されたエリア内に駐車する限りにおいては、補助車両をサービスパーク内に乗り入れることができます。それ以外の場合は、サービスパークに隣接する補助車両駐車場に駐車してください。各コンペティターには、2枚の車両通行証が配布されます。追加の車両通行証をご希望の場合は、1台につき30,000円にて追加が可能です。サービスパーク内にアクセスする際は、サービス及び補助車両通行証等の車両通行証を助手席側のフロントガラス上部に提示しなければなりません。

- ・スペクテーターエリアを除き、サービスパーク内全域ではクレデンシャルパスを身に付けて下さい。

- ・車両通行についてはマップに指示されている方向に従ってください。サービスパーク内を車両で通行する際には、マーシャルの指示に従ってください。

- ・一般ごみは、可燃ごみ(例：生ごみ、紙類)と不燃ごみ(プラスチックなど)を分別し、所定のゴミ箱に廃棄してください。使用済みオイル、フィルター、タイヤの溝彫くずなど有害廃棄物については、中央に設置してある専用のごみ集積所にお持ち下さい。

- ・全ての電源ケーブル及び配電盤は既存の照明用のもので(サービスパークコマンドーの許可がない限り)、サービス員が使用することは出来ません。

- ・洗車 - ラリーカーの洗車サービスは、サービスパーク内洗車エリアにてサービスごとに提供しております。

#### 5.5 ライト装着ゾーン

特別規則書をご覧ください。



#### 6. 無線



日本での無線の使用は厳しく規制されています。無線装置の使用希望者は付則 D.6 の申請書に、周波数、メーカー、型式番号、出力数を記入し、少なくともイベントの3か月前までに大会競技事務局宛送付してください。周波数や出力数によっては、日本で使用出来ない無線装置もあります。

## 7. 燃料 / タイヤ

### 7.1 燃料

#### 7.1.1 一般条件

参加者の燃料について、ラリージャパン特別規則書及び 2010 FIA 世界ラリー選手権競技規定(2010 FIA WRC Sporting Regulations) 第 59 条をご覧ください。

リフュールエリア Day 1 : 千歳市及び札幌サービスパーク  
 Day 2 : 苫小牧市及び札幌サービスパーク  
 Day 3 : 砂川市及び札幌サービスパーク

全ての FIA プライオリティードライバーは、FIA 指定燃料を使用しなければなりません。

FIA 指定燃料を使用しない競技参加者についても、オーガナイザーが用意した給油サービスにて、指定された単一の燃料を給油しなければなりません。オーガナイザーが用意する燃料の注文書につきましては、ラリージャパン公式ウェブサイトに掲載されます。

#### 7.1.2 FIA 燃料の発注方法

Vital Equipment が供給する 2010 年シーズンの FIA WRC 燃料価格は:1 リットル 4.63 ユーロです。FIA 燃料を使用するコンペティターは、FIA が公認する供給会社 Petrochem Carless で、この会社から委託を受けて Vital Equipment Ltd が燃料注文、供給、給油サービスを行う。コンペティターは、8月18日水曜日までに注文する事。注文書はEメール wrcfuelorder@vitalequipment.co.uk、もしくはファックス (+44 1981 241169) で送ること。

Carless-Vital Equipmentが発行する注文書は、ラリージャパンウェブサイトから取得可能。

銀行振込先の詳細は :

口座名: Petrochem Carless Ltd re World Rally

銀行名: Lloyds TSB Bank

銀行コード: 30-00-09

口座番号: 86350201

IBAN: GB 94 LOYD 3000 0986 3502 01

SWIFT: LOYDGB21013

燃料供給を受けるには、事前に料金全額の支払いを行う事が条件となる。

使用しなかった燃料についての返金は、ラリー終了後に行われる。

### 7.2 タイヤ

2010FIA 世界ラリー選手権競技規定(2010 FIA WRC Sporting Regulations) 第 60 条、第 61 条、第 62 条及び付則 V、特別規則書を参照すること。

### 7.2.1 単一タイヤ供給会社

4WD 車両で参加する全てのドライバーは、FIA によって指定されたタイヤを使用しなければなりません。ピレリのみが世界ラリー選手権へのタイヤ供給会社として FIA に承認された唯一のタイヤサプライヤーです。

コンペーターはタイヤの注文をする必要がありません。(エントリーリストで供給数は決定される)

その他の問合せについては下記のアドレスまで:

Pirelli Pneumatici S.p.A  
 Attention Mr. Mario Isola  
 Rally Manarer  
 Viale Sarca. 222  
 I – 20126 Milano – Italy  
 Tel: +39 02 6442 5919  
 Fax: +39 02 6442 9291  
 Mobile Phone: +39 335 1338601  
 E-mail: Mario.isola@pirelli.com

## 8. 車両と部品の日本への持ち込みと運転に必要な手続き

### 8.1 日本の法律／通関手続き

日本国内での輸送にはかなりの費用がかかりますので、開催場所から最も近い苫小牧港まで海上輸送を利用することをおすすめします。海外からの持ち込み品については税関手続きが必要になります。苫小牧港からサービスパークまでのコンテナ輸送には、約 1 時間かかります。

通関手続きに必要な書類と注意点などは下記の通り；

#### (1) FIA カルネ

FIA カルネはラリーカー、レッキ車両、サービス車両などの海外で登録された車両が日本国内を走行する時に必ず必要になります。このカルネは当該車両登録国の ASN から発行されます。なお、FIA カルネで通関をする際には、JAF が発行するカルネの証明書が必要になります。この証明書の取得については、オーガナイザーにお問合せ下さい。なお、カルネとこの証明書は、当該車両を使用中に警察などから提示を求められる場合があります。いつでも提示できるよう用意しておいて下さい。また、当該車両の登録国を問わず、公道を走る全ての車両は自賠責保険に加入してはなりません。

注意：ジュネーブ条約（ジュネーブで 1949 年に締結された「道路交通に関する条約」）国以外の国から車両を輸入する場合は、例え FIA カルネを取得していても、日本に到着した時点で車検、及び日本国内での登録が必要になります。この車検と登録には時間と費用がかかります。

\*カルネ名義人以外の方が当該車両を使用する場合は、前もって日本での通関時に所定の申請書による届出が必要です。

## (2) ATA カルネ

ATA カルネは機材、部品、タイヤ、及び販促アイテムを持ち込む時、必要になります。ATA カルネで輸入された全ての品目はラリー後再輸出される必要があります。禁制品は例え一時的であっても輸入することは出来ません。

## (3) PRO FORMA INVOICE

PRO FORMA INVOICE の使用に関しては、オーガナイザーもしくは個々の輸送会社にお尋ね下さい。

高圧ガスシリンダーなどの危険物や医療品の輸入に必要な特別認可を受ける際に、上記の書類提出が求められます。これらの輸入に関しては、各自で手続きをする必要があります。

株式会社栗林商会 苫小牧支社
053-0005 苫小牧市元中野町 2 丁目 13-16
Tel : 0144-32-5161
Fax : 0144-36-6839
河野 純吾 : kouno@kurinet.co.jp
小林 克之 : kat-kobayashi@kurinet.co.jp

ラリージャパンに参加する車両は、道路運送車両法・道路交通法など日本の国内法規を遵守しなければならず、国際モータースポーツ競技規則付則 J 項あるいは JAF 国内競技車両規則（ライトポット、排気音量、etc）に合致していなければなりません。

日本で登録されていない車両は、以下の (a) (b) の書類が必要であり、車両に搭載しておかなければなりません。(c) は競技車両用にお勧めします。

(a) JAF から発行され、オーガナイザーから配布されたカルネの証明書類（翻訳されたもの）。この書類は車両の一時輸入を許可する効力があります。ラリーカーに関しては、エントリーフィーに含まれていますが、ラリーカー以外の車両に関しては、手数料がかかります。

(b) 自賠償保険の加入。ラリーカーに関しては、エントリーフィーに含まれています。ラリーカー以外の日本で登録されていない車両に関しては、約 6,000 円で加入することができます。

(c) ラリー保険。ラリーカーやレッキカーに対しこの保険をかけることをお勧めします。この保険には第三者賠償責任保険も含まれ、保険料はエンジンの大きさによりますが、約 20,000 円です。

ラリーガイド 1 付則 D.3 のエントリーブックレットに、車両の輸入に関するセクションがあります。上記の(b)と(c)の書類には、車両について詳細にご記入ください。

## 8.2 日本国内を運転する際の条件

海外から入国する者が日本国内で運転する為には日本の運転免許証、もしくは公道を運転するのに有効な国際免許証を所持しなくてはなりません。国際運転免許証は 1949 年に締結されたジュネーブ条約下で発効されたもののみが有効で、免許証の表紙にその事が明記されていなくてはなりません。詳細に関してはオーガナイザーにお問合せ下さい。

ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー及び台湾で発行された免許証を所持している者は JAF による翻訳が必要になります。この翻訳した物と免許証を同時に携帯することで、ジュネーブ条約下で

発行された国際運転免許証と同じ効力を持ちます。上記以外の免許証を所持している者は、実技試験を受けるかもしくは外免切替を求められます。

外免切替の詳細についてはこちらのウェブサイトをご覧ください。: <http://www.jaf.or.jp/e/switch.htm>



## 9. ヘリコプター



### 9.1 申請手続き／インフォメーション

ラリーのサポート、取材、観戦等を目的としてヘリコプターを使用する場合は、オーガナイザーに登録しなければなりません（有料）。ラリーコースの上空は航空法により管理されています。また、このエリアにおける飛行は登録された航空機のみが許可されます。

ヘリコプター登録申込書は、巻末に添付されていますが、公式ウェブサイトからもダウンロードが可能です。記入後、8月25日（水）までに大会競技事務局に送付してください。

スペシャルステージ及びサービスパークの着陸地点および GPS ポイントの一覧表は後日お知らせします。

登録した航空機のパイロットは、パイロットブリーフィングに出席することが義務付けられています。

### 9.2 国内ヘリコプター会社の連絡先

朝日航洋株式会社	北海道航空株式会社
Tel:011-782-0603	Tel:011-782-1247
Fax:011-783-5286	Fax:011-780-2711
担当者: 小澤 氏 <a href="http://www.aeroasahi.co.jp">www.aeroasahi.co.jp</a>	担当者: 奥山 氏 <a href="http://www.hokkaido-koku.co.jp">www.hokkaido-koku.co.jp</a>

朝日航洋株式会社は、ラリージャパンとヘリコプター業務の提携を行っています。



## 10. ホスピタリティー



### 10.1 ホスピタリティー担当者／会社

ラリージャパンでは、北翔クロテック月寒ドームでのホスピタリティーを含め、幅広いコーポレートホスピタリティーのオプションを用意しています。日本流のおもてなしの中、世界最高のラリー観戦をお楽しみください。

コーポレートホスピタリティーの詳細は、以下にお問い合わせください。

高嶋 伸后

Tel: 011-864-2003

Email: [takashima@rallyjapan.jp](mailto:takashima@rallyjapan.jp)

## 11. ホテル／宿泊予約

### 11.1 ホテル／宿泊施設のリストと予約に関するお問合せ

ラリージャパンでは、本大会に参加する方々のために、大会期間中の宿泊をラリーHQ 周辺のホテルに予約しています。札幌市内外には数多くのホテルがありますが、次項のリストにあるホテルを希望される方は、以下にあります株式会社ジェイティービー(JTB)までお尋ねください。

ホテル名	ホテル所在地／ラリーHQ までの距離／ウェブサイト	特徴
シェラトンホテル札幌	札幌市厚別区厚別中央 2 条 5 丁目 7.4km <a href="http://www.sheraton-sapporo.com/">www.sheraton-sapporo.com/</a>	世界中に展開するシェラトングループのホテル。イタリアンレストラン「ラ・ステラ」からは札幌市内が一望できる。
JR タワーホテル日航札幌	札幌市中央区北 5 条西 2 丁目 5 8.2km <a href="http://www.jrhotels.co.jp/tower/index.html">www.jrhotels.co.jp/tower/index.html</a>	JR 札幌駅に隣接したリゾートのようなくつろぎを感じることが出来るホテル。最上階にはバーやレストランがある。
札幌グランドホテル	札幌市中央区北 1 条西 4 丁目 8.0km <a href="http://www.grand1934.com/">www.grand1934.com/</a>	札幌中心部に位置する、60 年以上の歴史を誇るホテル。06 年にリニューアルオープン。
札幌後楽園ホテル	札幌市中央区大通西 8-1 7.9km <a href="http://www.sapporo-korakuen.co.jp/">www.sapporo-korakuen.co.jp/</a>	大通公園に隣接した眺望豊かなホテル。14 階までの吹き抜けと客室の大きな窓が特徴。
札幌プリンスホテルタワー	札幌市中央区南 2 条西 11 丁目 8.2km <a href="http://www.princehotels.co.jp/sapporo/">www.princehotels.co.jp/sapporo/</a>	地上 28 階建ての円柱形のシティホテル。上層階と下層階で部屋のタイプが違う。
ラマダホテル札幌	札幌市中央区南 5 条西 3-7 7.1km <a href="http://www.ramada-sapporo.com/">www.ramada-sapporo.com/</a>	繁華街すすきのに位置するホテル。個室は小さめ。
札幌東急イン	札幌市中央区南 4 条西 5-1 7.3km <a href="http://www.sapporo-i.tokyuhotels.co.jp/">www.sapporo-i.tokyuhotels.co.jp/</a>	地下鉄すすきの駅から徒歩 1 分のビジネスホテル。
ノホテル札幌	札幌市中央区南 10 条西 6-1-21 7.3km <a href="http://www.novotelsapporo.com/">www.novotelsapporo.com/</a>	中島公園に隣接するシティホテル。レストランやバーも充実。
ルネッサンス・サッポロ・ホテル	札幌市豊平区豊平 4 条 1-1-1 6.0km <a href="http://www.rnsph.com/">www.rnsph.com/</a>	レストランをはじめ館内施設が充実したホテル。多数の絵画がパブリックスペースを飾る。
ホテルモンテレ札幌	札幌市中央区北 4 条東 1-3 7.9km <a href="http://www.hotelmonterey.co.jp/sapporo/">www.hotelmonterey.co.jp/sapporo/</a>	英国調の備品彩られた格調高いホテル。客室はモダン、クラシック、カントリー、リージェンシーの 4 タイプあり。
札幌エクセルホテル東急	札幌市中央区南 8 条西 5-420 7.3km <a href="http://www.sapporo-e.tokyuhotels.co.jp/">www.sapporo-e.tokyuhotels.co.jp/</a>	中島公園から近いホテル。バーやレストランも充実。
ホテルモンテレエーデルホフ札幌	札幌市中央区北 2 条西 1 丁目 7.7km <a href="http://www.hotelmonterey.co.jp/edelhof/">www.hotelmonterey.co.jp/edelhof/</a>	19 世紀末のウィーンをテーマとしたホテル。14 階には天然温泉のスパを備える。

この他に、札幌中心部より離れた場所にビジネスホテル、格安宿泊施設（コテージやユースホステル等）、温泉ホテルやリゾートがあります。これらの予約につきましては、JTB にお問い合わせください。朝食が別料金となっているホテルもございますので、ご希望の方は予約の際、あらかじめご確認ください。

## 11.2 指定旅行会社及び担当者

株式会社 ジェイティービー(JTB)  
 担当者：梅本 睦子  
 Tel: 011-221-4800 Fax: 011-232-5320  
 E-mail: rallyjapan@hkd.jtb.jp

## 11.3 宿泊予約申込書および予約の手順

宿泊施設の予約には、宿泊予約申込書を 8 月 10 日(火)までに上記宛までご送付ください。尚、締切日近くなってホテルが満室になっている場合がございますので、ご了承ください。宿泊予約申込書はラリーガイド 1 の付則 D5 に添付されております。その後、予約確認書が送付されますので、それをチェックイン時にご提示ください。チームや団体など、複数の人が異なった日時に到着される場合は、予約確認書に「イベント中の連絡先」をご記入ください。ホテルはこの連絡先に連絡を取ります。

宿泊費は全額、前払いとなります。お支払いには、以下のクレジットカード(Mastercard / Diners Club / Visa / American Express / JCB)を使用するか、銀行振り込みとなります。宿泊される方に対し、宿泊費のご請求金額及びお支払い先をお知らせします。

### キャンセル

キャンセルや、予約内容を変更する場合には、JTB に書面にてお知らせください。指定のクレジットカードに返金される前に、以下のキャンセル料がクレジットカードから引き落とされます。

最初の宿泊日より 21 日前まで	なし
20～10 日前	1 泊の宿泊費の 10%
9～2 日前	1 泊の宿泊費の 20%
前日	1 泊の宿泊費の 80%
当日あるいは連絡なし	1 泊の宿泊費の 100%

ホテルによって朝食の値段が異なります。朝食付の宿泊をご希望の場合は、朝食についてご希望の日程および時間など具体的な要望をお知らせください。



## 12. レッキ



詳細は、ラリーガイド 2 及び特別規則書をご覧ください。

全競技参加者は、レッキが行われる前にレッキ車両の受付を済ませてください。受付の際に、レッキカードと車両 ID カードを発行します。車両 ID カードは左側リアサイドウィンドウに提示しなければなりません。

### 12.1 レッキ受付

日時: 9 月 6 日 月曜日 09:00 ~ 19:00  
 場所: ラリーHQ

## 12.2 レッキスケジュール

詳細は、ラリーガイド2 及び特別規則書をご覧ください。

使用タイヤは、量産されたターマックタイヤとし、競技用タイヤの使用は禁止します。



### 13 公式車検およびシーリング&マーキング



詳細は、ラリーガイド2 及び特別規則書をご覧ください。

場 所：北翔クロテック月寒ドーム

日 時：9月8日(水) 09:00 ~ 21:00



### 14. シェイクダウン



詳細は、ラリーガイド2 及び特別規則書をご覧ください。

シェイクダウンに参加できるのは、FIA プライオリティードライバーのみです。

場 所：札幌ドーム

日 時：9月9日 木曜日

プライオリティー1 及び2 ドライバー 08:00 ~ 10:00

プライオリティー1、2 及び3 ドライバー 10:00 ~ 12:00

ステージの距離：1.57 km

サービス：北翔クロテック月寒ドーム サービスパーク

サービスパークまでの距離：2.7km



### 15. スタート手順



詳細は、Rally Guide2 をご覧ください。



### 16. フィニッシュ進行





詳細は、Rally Guide2 をご覧ください。



### 17. PR イベント案内



詳細は、Rally Guide2 をご覧ください。


 18. メディア
 

## 18.1 メディアの連絡先(大会前)

メディアに関することは、下記の連絡先にお問合せください。

メディアオフィサー: 中條 美幸  
 ナショナルメディアオフィサー: 加藤 和由、天野 克彦

ラリージャパン大会事務局  
 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通  
 19丁目南 4-9 邦明ビル 2F  
 TEL: 011-864-2003 FAX: 011-864-1192  
 E-mail: media@rallyjapan.jp  
 Web: www.rallyjapan.jp

## 18.1.1 メディアセンター

メディア登録受付の開設時間と場所  
 北翔クロテック月寒ドーム入口付近

9月7日火曜日	14:00~19:00
9月8日水曜日	08:00~21:00
9月9日木曜日	07:00~21:00

メディアセンターの開設時間と場所  
 北翔クロテック月寒ドーム内

9月8日水曜日	08:00~22:00
9月9日木曜日	07:00~22:00
9月10日金曜日	08:00~22:00
9月11日土曜日	08:00~22:00
9月12日日曜日	05:30~23:00
9月13日月曜日	09:00~12:00

## 18.2.1 マニファクチャールーム

マニファクチャールームの開設時間と場所  
 メディアセンターの隣り

9月8日水曜日	08:00~22:00
9月9日木曜日	07:00~22:00
9月10日金曜日	08:00~22:00
9月11日土曜日	08:00~22:00
9月12日日曜日	05:30~23:00

## 18.2 メディア申請の方法と添付書類、締切

### 18.2.1 国内メディア（ジャーナリスト、フォトグラファー及びラジオ）

国内メディアの申請手続きは、すべてを記入した申請書と各添付書類を、2010年8月11日（水）18時00分（必着）までに下記の住所に送付しなければなりません。（FAX及びメールなどでは申請出来ません）

ラリージャパン大会事務局 メディア担当  
〒003-0022 札幌市白石区南郷通19丁目南4-9 邦明ビル2F  
TEL: 011-864-2003

必要な各添付書類については、下記の18.2.6に記載してあります。

申請書はラリージャパン公式ウェブサイト ([www.rallyjapan.jp](http://www.rallyjapan.jp)) または FIA 公式ウェブサイト ([www.fia.com](http://www.fia.com)) よりダウンロードが出来ます。申請書と各添付書類は全て英語（申請書はローマ字のブロック体）で記入しなければなりません。

FIA の承認後にラリージャパン大会事務局より、メディア申請承認結果を大会の2週間前までに各申請媒体のFAXに送ります。

申請が承認された場合は、承認結果書と同意書がFAXされ、同意書には代表者又は編集長が署名する欄があります。

メディア受付で署名された同意書と引き換えに、メディアクレデンシャルを渡します。署名された同意書がなければメディアクレデンシャルを渡すことが出来ません。

### 18.2.2 海外メディア（ジャーナリストとフォトグラファー）

<日本語版では省略します>

### 18.2.3 テレビ及び海外ラジオ、ウェブサイト

全てのテレビ及び海外ラジオ、ウェブサイトの申請は、下記の宛先で申請手続きを行います。

#### North One Sport Accreditation Service

The Annex, Maynard House,  
46-52 Pentonville Road  
LONDON N1 9HF, Great Britain  
TEL: +44 (0)20 7584 7584  
FAX: (44) 20 7502 5621

### 18.2.4 フォトグラファー

フォトグラファーの申請は、出版物及び新聞がFIA基準の販売部数とクオリティーに適合していなければなりません。ラリージャパンに申請をしている出版社及び新聞社は、前年度のWRC選手権において取材承認されたフォトグラファーにつき、最低15枚の写真掲載がされた実績を提出しなければなりません。ラリージャパンにおいて「国内フォトグラファー」タブードの発行は、最高で12枚です。

#### 18.2.4.1 コマーシャルフォトグラファー

コマーシャルフォトグラファー(PR、チーム、スポンサー)は、メディア登録が出来ません。登録は **North One Sport Accreditation Service** に申請をしなければなりません。

#### 18.2.5 原則

1) ラリージャパンにおいて出版社及び新聞社は、1社につき最高2名までのメディア申請が出来ます(ジャーナリスト及びフォトグラファー)。承認された出版物及び新聞は、一般的に販売され、FI あ基準を満たしている発行部数とクオリティーを持っていないければなりません。(業界紙(誌)、クラブまたは社内(誌)は通常承認されません)

2) どんな場合でも広告、PR、マーケティングなどの代理店を、メディアとしては承認しません。また同様に、スポンサー、サプライヤー、マニファクチャー、ドライバーなどにメディアとしての承認を出しません。

上記の2)カテゴリーは、**North One Sport Accreditation Service** に申請をしなければなりません。

3) 通信社は出版物と同じ必要条件の適用を受けます。主要な国際通信社の本社と支局(AP、AFP、Reuters、ANSA、UPI、DPA、LUSA、BELGA、JIJI、KYODO、EFE、Press Association、SAPA、Australian AP、APA etc)は、FIAによって処理されます。

#### 18.2.6 添付書類

##### 1) 取材者の推薦状と取材企画書

- ・ 推薦状は、出版社及び新聞社の公式用紙(例：レターヘッドのついた用紙)に記載し、代表者又は編集長の署名があるもの。
- ・ 企画書は、出版社及び新聞社の公式用紙に掲載予定内容と販売予定日、掲載予定ページ数(予定スペース)、カラー/白黒の予定ページ etc を記載してください。

##### 2) 出版物のサンプルを1冊

3) 取材者個人の取材、報道実績を証明できる書類と、前年度に出版されたラリージャパンの記事と他のWRC記事のコピー

##### 4) 取材者個人の代表的な公式国内メディアパスおよび記者証のコピー

- ・ 例：JAFパス、JRPA、スズカメディアパス、APA、JWS、RPA、PRP、AJPSなど

##### 5) 緊急時(事故、ケガ、死亡など)の連絡先(氏名、続柄、TEL、住所)

6) フリーのジャーナリスト申請は、それぞれの出版社を通して申請をしなければなりません。また少なくとも5つの出版物に対し、定期的な掲載実績を証明しなければなりません。

#### 注意:

- ・ 主要な国際メディア通信社と、18.2.5の3)の通信社は、2)が除外されます。
- ・ 初めて申請する出版物の場合は、3)が除外されます。
- ・ 申請書の中にある登録媒体の FAX ナンバーを必ず記入してください(メディア申請承認結果を各申請媒体の FAX に送ります)。

## 19. クレデンシャル及び車両通行証

詳細は、Rally Guide2 をご覧下さい。

## 20. 緊急医療サービス

詳細は、Rally Guide2 をご覧下さい。

## 21. 総合案内

### 21.1 概要

空港:	新千歳空港に国内外からの路線が運行されています。
現金:	<日本語版では省略します>
通貨:	<日本語版では省略します>
標高:	スペシャルステージの平均：203m / サービスパーク：66m
電気:	<日本語版では省略します>
大使館・領事館:	<日本語版では省略します>
国際電話:	<日本語版では省略します>
携帯電話:	<日本語版では省略します>
営業時間:	<日本語版では省略します>
人口:	<日本語版では省略します>
祝日:	<日本語版では省略します>
降水量:	137.6mm [札幌：9月平均] / 208.5mm [東京：9月平均] 日の出（9月10日）05時08分 [札幌] 日の入（9月10日）17時55分 [札幌]
税金:	<日本語版では省略します>
気温:	最高気温：22.0℃[札幌：9月平均] / 26.8℃[東京：9月平均] 最低気温：13.6℃[札幌：9月平均] / 20.7℃[東京：9月平均]
時間帯:	<日本語版では省略します>
チップ:	<日本語版では省略します>
ビザ:	<日本語版では省略します>
水:	通常の水道水は飲むことが出来ます。ホテルの中にはリサイクルウォーターを使用しているところもありますが、その場合はその旨が明記されています。

## 21.2 車両レンタル-乗用車、トラック

ラリージャパンのオフィシャルレンタカー会社は、ニッポンレンタカーです。下記が問い合わせ先です。申込書は付則をご覧ください。車両およびレンタル料金の詳細につきましては、ニッポンレンタカーまでお問い合わせください。

付則 D2 の所定用紙をご使用の方には特別優待料金を用意しております。

ニッポンレンタカーの英語版サイトは、下記の URL です。

<http://www.nrh.co.jp/travel/en/>

海外からのレンタカーに関するお問い合わせ ニッポンレンタカー English Service Desk; Tel: +81-3-3485-7196	国内(北海道)のレンタカーに関するお問い合わせ ニッポンレンタカー北海道(株) 予約センター Tel: 011-805-0921 Fax: 011-805-0920
--	--

ニッポンレンタカー北海道	公式予約サイト	<a href="http://www.nrh.co.jp/">http://www.nrh.co.jp/</a>
ニッポンレンタカー北海道	千歳空港前	0123-26-0921
ニッポンレンタカー北海道	札幌駅北口	011-746-0919
ニッポンレンタカー北海道	新札幌駅前	011-896-0919

### その他レンタカー会社

トヨタレンタリース	北 5 条東 2 丁目	011-281-2875	<a href="http://www.toyotarentacar.net/">http://www.toyotarentacar.net/</a>
日産レンタカー	千歳空港	1210-00-4123	<a href="http://www.nissan-rentacar.com/">http://www.nissan-rentacar.com/</a>
マツダレンタカー	北 2 条東 2 丁目	011-231-0118	<a href="http://www.mazda-rentacar.co.jp">http://www.mazda-rentacar.co.jp</a>

## 21.3 航空会社

全日空札幌支店	中央区北 4 西 4 伊藤加藤ビル 1F	011-726-8800 / 0570-029-222(国内線) 011-281-1212 / 0570-029-333(国際線)
---------	----------------------	--

日本航空札幌支店	中央区北 1 条西 3 丁目井門札幌ビル 2F	0570-025-071(国内線) 011-232-3690(国内線) 0570-025-031(国際線) 011-232-1144(国際線)
----------	-------------------------	--

エールフランス	東京	03-3570-8577	
エアインディア	東京	03-3508-0261	
ニュージーランド航空	東京	03-5521-2727	0120-300-747
アリタリア航空	東京	03-5166-9111	
アメリカン航空	東京	03-3298-7677	
ブリティッシュエアウエイズ	東京	03-3570-8567	
キャセイパシフィック航空	東京	03-5159-1700	
フィンランド航空	東京	0120-700-915	
ルフトハンザ航空	東京	03-5750-5713	0120-051-844

マレーシア航空	東京	03-5733-2111	
カンタス航空	東京	03-3593-7000	0120-207-020
スカンジナビア航空	東京	03-5400-2331	
シンガポール航空	東京	03-3213-3431	
タイ国際航空	東京	03-3503-3311	0570-064-015
ユナイテッド航空	東京	03-3817-4411	0120-114-466
バージンアトランティック航空	東京	03-3499-8811	

## 21.4 札幌へのアクセス

### 21.4.1 新千歳空港への空路

東京/成田空港から：

成田空港から新千歳空港に飛ぶ便を日本航空(JAL)と全日空(ANA)が運行していますが、2社合計で1日数便なのでご注意ください。多くの場合は成田空港から国内線のハブである羽田空港に向かいます。成田国際空港から羽田空港まではエアポートリムジンバスが便利です。運賃は3,000円で所要時間は約75分。チケットは到着ロビーから出て正面のリムジンバス/案内デスクでお買い求めいただけます。また京成電鉄が羽田空港行きの特急や快速電車を運行しています。

東京/羽田空港から：

新千歳空港へ日本航空(JAL)、全日空(ANA)、AIR DO 北海道国際航空(ADO)、スカイマーク(SKY)の4社が就航しています。運行便数は4社合計で1日50便以上になり大変便利です。フライト時間は約1時間30分。料金は運行会社、予約時期、フライト時刻によって大きな違いがあります。

大阪/関西空港から：

新千歳空港に飛ぶ便を日本航空(JAL)と全日空(ANA)が運行しています。2社合計で1日10便ほどになります。フライト時間は約1時間50分。

その他空港から：

国際便では韓国、北京のほか中国各地、香港、台湾、ユジノサハリンスク、グアムからの10路線が新千歳空港へ運行されています。国内便では各地から30路線以上が運行されています。

### 21.4.2 苫小牧へのフェリー航路

東京/水戸から：

水戸の大洗港から商船三井フェリーが毎日2便、大型フェリーを運航しています。所要時間は約19時間(例：18時30分発で翌日13時30分着)。東京から大洗港までは高速道路が通じており、北関東自動車道の水戸大洗ICで降ります。

東京/仙台から：

仙台港から太平洋フェリーが毎日、大型フェリーを運航しています。所要時間は約14時間20分(例19時発で翌日9時20分着)。東京から仙台までは高速道路が通じています。仙台港北ICからフェリーターミナルまで約10分。

東北/八戸(はちのへ)から：

青森県八戸港からシルバーフェリーが毎日 4 便、大型フェリーを運航しています。所要時間は約 9 時間(例：13 時発で 22 時着)。

中部/名古屋から：

名古屋港から太平洋フェリーが毎日、大型フェリーを運航しています。仙台経由の航路となり所要時間は約 38 時間 20 分(例：19 時発で翌々日 9 時 20 分着)。

関西/敦賀から：

敦賀港から新日本海フェリーが毎日、大型フェリーを運航しています。所要時間は約 19 時間 15 分(例：1 時 15 分発で 20 時 30 分着)。直行便と経由便があり、到着は苫小牧東港になります。

東北新潟から：

新潟港から新日本海フェリーが週に 5 便大型フェリーを運航しています。到着は苫小牧東港になります。

東北/秋田から：

秋田港から新日本海フェリーが週に 5 便大型フェリーを運航しています。到着は苫小牧東港になります。

## 21.5 北翔クロテック月寒ドームと札幌ドームへのアクセス

### 21.5.1 新千歳空港

新千歳空港から札幌ドームまで空港路線バスが走っています。北翔クロテック月寒ドームは、札幌ドームから 2.5km の所にあります。日中は 1 時間に 4 本の運行で所要時間は約 40 分。運賃は片道 1,000 円。

新千歳空港から札幌市街まで JR の電車が走っています。新千歳空港駅から札幌駅まで快速エアポートの場合、所要時間は約 36 分で運賃は片道 1,040 円。北翔クロテック月寒ドームへの最寄りの駅は、新札幌駅です。

タクシーやレンタカーの場合は道央自動車道の千歳 IC から高速道路に乗り、札幌南 IC または北広島 IC で降ります。

[新千歳空港(日本語/英語): <http://www.new-chitose-airport.jp>]

### 21.5.2 札幌駅

札幌駅は地下鉄東豊線(とうほうせん)に乗り終点の福住駅(ふくずみえき)で下車します。所要時間は約 13 分で運賃は片道 240 円。北翔クロテック月寒ドームまでは徒歩 10 分。札幌ドームまでは徒歩 10 分。タクシーやマイカーの場合は札幌駅から国道 36 号線を走り約 30 分ほどの距離になります。

### 21.5.3 苫小牧港

苫小牧港から自動車の場合は、道央自動車道の苫小牧東 IC から高速道路に乗り、札幌南 IC または北広島 IC で降ります。苫小牧東港からは日高自動車道の厚真(あつま)IC から高速道路に乗ります。

#### 21.5.4 高速道路

道央圏は高速道路ネットワークが充実しています。札幌ドームへは札幌南 IC または北広島 IC で降ります。

NEXCO 東日本: <http://www.e-nexco.co.jp>



札幌駅

新千歳空港

札幌地下鉄

#### 21.6 電話

##### 携帯電話

日本の携帯電話のネットワークは独特のため、世界で一般的な GSM 方式の携帯電話は日本国内では使用できません。

一部ローミングサービスによって使用できる場合もありますが、携帯電話の機種および契約会社について事前にご確認下さい。

##### ■ローミングサービス

・NTT-DOCOMO: <http://roaming.nttdocomo.co.jp/service/index.html>

以下は、海外からお越しの方が携帯電話の使用を希望する場合のオプションです：

##### ■成田国際空港でレンタルする。下記ウェブサイト参照。

- ・NTT-DOCOMO: <http://roaming.nttdocomo.co.jp/>
- ・SoftBank: <http://www.softbank-rental.jp/en/>
- ・JAL-ABC: <http://www.rental-mobile.com/en/domestic/>

##### ■プリペイド式携帯電話

コンビニエンスストアにて安価な携帯電話機とプリペイド式テレフォンカードを購入できます。価格は端末は約 4,000~10,000 円、テレフォンカードは度数によって様々な価格で販売されています。通話料は国際通話の場合、フランスへ昼間は 85 円/30 秒、国内通話の場合は 2 円/秒です。

・SoftBank: <http://mb.softbank.jp/mb/en/prepaid/>

衛星電話レンタル  
レンタコム北海道

中央区南 1 条東 7 丁目

011-222-2880

北海道ムーバレンタルセンター	中央区北 1 条東 1 丁目 4-1 サン経成ビル	011-207-1002 0120-68-0100
----------------	---------------------------	------------------------------

携帯電話レンタル プライ	中央区大通西 5 丁目 11 大五ビル 6F	011-207-5166
レンタコム北海道 プル	中央区南 1 条東 7 丁目 清田区平岡 10 条 1 丁目 17-12	011-222-2880 011-896-7226

札幌市での携帯電話機のレンタルについてオーガナイザーにお問い合わせ下さい。

## 21.7 警備会社

安全警備	豊平区美園 4 条 1 丁目 1-14	011-832-5660
チュウケイ	中央区南 1 条西 7 丁目 4 塩業ビル 5F	011-271-5933
道都警備	白石区菊水 2 条 2 丁目 2-12	011-813-3650
総合警備保障北海道支社	清田区清田 1 条 1 丁目 1-36	011-888-4511
札幌パブリック警備保障	中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 5F	011-281-3521
北斗警備保障 札幌支社	中央区大通西 20 丁目 2-20 道新円山ビル 5F	011-622-6330
札幌美装興業	中央区南 3 条西 10 丁目 1001-5 福山南三条ビル 2F	011-231-0731
トーショウビルサービス	中央区北 1 条西 9 丁目第三古久根ビル 3F	011-271-5656

個別に警備が必要な場合は、オーガナイザーにお問い合わせ下さい。

## 21.8 タクシー

光星ハイヤー	中央区北 1 条西 21 丁目 2-22	011-641-6000
金星自動車	清田区北野 1 条 1 丁目 9-1	011-881-8801
興亜第一交通	東区北 24 条東 10 丁目 1-25	011-731-2411
明星自動車	南区南 34 条西 11 丁目 7-1	011-731-2411
朝日交通	西区二十四軒 4 条 1 丁目	011-644-6644
ひばり交通	白石区本通 19 丁目北 1-15	011-866-5432
日の丸交通	中央区北 10 条西 19 丁目 36-186	011-866-5432
太洋ハイヤー	西区宮の沢 2 条 4 丁目 7-5	011-814-1050
平岸ハイヤー	豊平区平岸 2 条 4 丁目 5-15	011-831-8111
ひかり交通	白石区本通 19 丁目北 1-15	011-866-5432
寿ハイヤー	南区川沿 5 条 2 丁目 2-1	011-572-6000
リンクアップ	白石区中央 1 条 7 丁目 1-16	011-846-9608
東交通	豊平区平岸 1 条 13 丁目 3-8	011-814-1050
ダイコク交通	石狩市新港西 1 丁目 769-3	011-741-6000
ハロータクシー	豊平区月寒東 1 条 4 丁目 1-8	011-222-8686